

科目名		授業形態	担当教員名	
血液浄化装置学		講義	竹田 友和	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
医療現場において、透析医療の質を高く維持するために臨床工学技士に求められている資質は少ない。本講義では、血液浄化装置の基礎、各種血液浄化法の原理、患者管理等を幅広く講義する。				
授業の到達目標				
血液浄化装置の原理・構造・構成について理解する。血液浄化療法の各種治療法について理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	腎臓の構造と機能・腎疾患と病態生理			
2	血液浄化療法の歴史と現状			
3	血液浄化法(1) (血液透析)			
4	血液浄化法(2) (血液濾過・血液透析濾過)			
5	血液浄化法(3) (オンラインHDF)			
6	回路構成・プライミング			
7	バスキュラーアクセス			
8	血液浄化器(ダイアライザ、ヘモダイアフィルタ)・血液浄化器の性能評価			
9	透析量評価の指標・抗凝固薬			
10	透析合併症・ドライウエイト			
11	水処理装置			
12	透析液供給装置・透析液・補充液			
13	患者監視装置・個人用透析装置			
14	血液浄化法(4) アフェレシス療法			
15	血液浄化法(5) 腹膜透析			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版			医歯薬出版	
臨床工学技士のための血液浄化療法フルスペック			メジカルビュー社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				